



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 アース製薬株式会社
 コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括部統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川端 克宜
 (氏名) 三枚堂 正悟

TEL 03-5207-7458

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	137,282	3.5	12,537	2.4	12,531	0.5	7,806	9.3
27年12月期第3四半期	132,610	11.3	12,248	△8.7	12,471	△11.7	7,144	△7.6

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 7,311百万円 (△6.9%) 27年12月期第3四半期 7,852百万円 (△5.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	386.54	—
27年12月期第3四半期	353.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	118,440	53,819	40.6
27年12月期	104,448	48,991	41.6

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 48,075百万円 27年12月期 43,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	110.00	110.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	6.4	5,100	27.0	5,900	38.5	3,000	157.5	148.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	20,200,000 株	27年12月期	20,200,000 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	4,401 株	27年12月期	4,207 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	20,195,709 株	27年12月期3Q	20,195,893 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、国内景気は緩やかな回復基調が続き、消費者マインドに持ち直しの動きが見られるなど個人消費は総じてみれば底堅い動きとなっております。一方、海外では当社が特に注力するアジア地域において中国景気が緩やかに減速しているほか、英国のEU離脱などの影響で海外経済の不確実性が高まっており、景気の先行きは不透明感を増す状況です。

このような経済状況のなか、当社グループは「ベストクオリティで世界と共生」の基本理念のもと「お客様目線」に立ち、『海外展開の強化』『グループシナジーの最大化』『収益力の向上』を3つの重点テーマとした中期経営計画を掲げております。これらのテーマに加え、従来からの取り組みを発展・強化することで、中期経営目標“2020年連結売上高2,000億円、連結経常利益150億円の達成”に向けて、成長力と収益性の双方を高める経営を進めてまいります。中期経営計画の初年度である当期は、上記3つの重点テーマに沿った課題の解決に取り組み始めるとともに、白元アース㈱の確実な売上成長と収益改善を図っております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は新製品の寄与などにより1,372億82百万円(前年同期比3.5%増)、また利益については売上増に伴う売上総利益の増加に加え、製造原価のコストダウンなどにより、営業利益125億37百万円(同2.4%増)、経常利益125億31百万円(同0.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益78億6百万円(同9.3%増)となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

〔家庭用品事業〕

家庭用品事業におきましては、消費者マインドに持ち直しの動きが見られるものの、販売店の合併等に伴うバイイングパワーの増大などを背景に企業間競争が激しさを増す状況でありました。

このような状況のなか、新製品の発売及び育成・拡販に向けた広告宣伝の積極的な投入などにより市場の活性化を図り売上を拡大するとともに、製造原価のコストダウンなどにより収益性の向上に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は1,267億60百万円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は109億27百万円(同3.9%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
殺虫剤部門	56,297	56,486	189	0.3%
日用品部門	59,391	63,827	4,436	7.5%
口腔衛生用品	25,178	27,152	1,974	7.8%
入浴剤	12,710	13,877	1,167	9.2%
その他日用品	21,503	22,798	1,294	6.0%
ペット用品・その他部門	6,221	6,445	224	3.6%
売上高合計	121,910	126,760	4,849	4.0%
セグメント利益(営業利益)	10,521	10,927	406	3.9%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では5,045百万円、当第3四半期連結累計期間では5,820百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

殺虫剤部門

殺虫剤部門においては、前年は店頭消化の最盛期である6月以降、天候不順の影響から消化が伸び悩みましたが、本年はシーズン全般を通じて安定した天候が続いたことで、国内家庭用殺虫剤市場は前年を上回りました。一方で、9月末時点における当社の市場シェア(自社推計)は56.7%(前年同期比0.5ポイント減)となりました。

このような状況のなか、虫よけ用品は前年を下回りましたが、日本で初めて化学合成殺虫剤を使わずにゴキブリを駆除・忌避する製品として防除用医薬部外品の認可を受けた『ナチュラル凍らすジェットゴキブリ秒殺』『ナチュラル天然ハーブのゴキブリよけ』などの新製品を中心にゴキブリ用殺虫剤が大きく伸長しました。また、海外販売においては、タイ・中国を中心に販売網の拡大や取扱製品の充実を図るとともに、積極的な販売促進施策を推進したことで、現地通貨ベースで2ケタ増と大幅に伸長し、円換算でも為替の影響を受けたものの前年を上回りました。

以上の結果、当部門全体の売上高は564億86百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、前期の秋に発売した洗口液『モンドミン プレミアムケア』が売上に寄与したことに加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が大幅に売上を伸ばし、売上高は271億52百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

入浴剤分野においては、前期の秋に発売した発泡入浴剤『温泡』が売上に大きく寄与したほか、『バスクリン』の売上が伸びたことなどにより、売上高は138億77百万円(同9.2%増)となりました。

その他日用品分野においては、今春発売した消臭芳香剤『スッキー！』の売上が好調に推移したほか、除湿剤『ドライ&ドライUP』の新製品が寄与したことなどにより、売上高は227億98百万円(同6.0%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は638億27百万円(同7.5%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品・その他部門においては、売上高は64億45百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、「安全・安心」に対する意識の高まりから、主要な顧客層である食品関連工場を中心に、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスに対するニーズが拡大しております。

このような状況のなか、本年1月に新設した彩都総合研究所を拠点に研究・技術開発や人材の教育訓練を進めるとともに、差別化された品質保証サービスを提供し、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は164億24百万円(前年同期比3.8%増)となりましたが、彩都総合研究所の新設に伴う減価償却等の維持費が増加したことにより、セグメント利益(営業利益)は11億80百万円(同21.6%減)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	15,822	16,424	602	3.8%
セグメント利益(営業利益)	1,506	1,180	△325	△21.6%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では77百万円、当第3四半期連結累計期間では82百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて139億91百万円増加し、1,184億40百万円となりました。これは主に、現金及び預金や売上債権、有価証券が増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて91億62百万円増加し、646億20百万円となりました。これは主に、仕入債務、未払法人税等、返品調整引当金が増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて48億28百万円増加し、538億19百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.0ポイント低下し、40.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月9日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,391	13,096
受取手形及び売掛金	17,877	21,258
有価証券	-	7,999
商品及び製品	17,665	17,650
仕掛品	961	799
原材料及び貯蔵品	4,589	4,591
繰延税金資産	1,481	2,111
その他	2,211	1,806
貸倒引当金	△477	△34
流動資産合計	55,701	69,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,108	23,976
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,749	△11,983
建物及び構築物(純額)	10,359	11,992
機械装置及び運搬具	10,436	10,557
減価償却累計額	△8,195	△8,277
機械装置及び運搬具(純額)	2,241	2,279
土地	8,209	8,149
リース資産	534	539
減価償却累計額	△162	△244
リース資産(純額)	371	295
建設仮勘定	4,302	3,444
その他	7,047	7,584
減価償却累計額	△5,769	△6,086
その他(純額)	1,277	1,498
有形固定資産合計	26,761	27,660
無形固定資産		
のれん	11,802	10,371
リース資産	26	22
その他	874	839
無形固定資産合計	12,703	11,233
投資その他の資産		
投資有価証券	4,875	5,563
退職給付に係る資産	3,439	3,772
繰延税金資産	19	18
その他	955	920
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	9,282	10,267
固定資産合計	48,747	49,161
資産合計	104,448	118,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,640	27,888
短期借入金	4,051	2,608
1年内返済予定の長期借入金	3,066	2,965
未払金	5,904	5,755
未払法人税等	1,134	4,227
未払消費税等	431	1,352
賞与引当金	403	1,263
返品調整引当金	732	3,333
その他	3,384	3,364
流動負債合計	43,749	52,760
固定負債		
長期借入金	8,030	8,475
繰延税金負債	1,397	1,349
役員退職慰労引当金	140	151
退職給付に係る負債	639	575
資産除去債務	425	429
その他	1,073	878
固定負債合計	11,707	11,859
負債合計	55,457	64,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,377	3,377
資本剰余金	3,168	3,168
利益剰余金	34,441	40,008
自己株式	△12	△13
株主資本合計	40,974	46,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,169	916
為替換算調整勘定	683	△29
退職給付に係る調整累計額	629	647
その他の包括利益累計額合計	2,482	1,534
非支配株主持分	5,533	5,744
純資産合計	48,991	53,819
負債純資産合計	104,448	118,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	132,610	137,282
売上原価	81,062	83,255
売上総利益	51,547	54,026
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,954	4,140
広告宣伝費	7,124	7,241
販売促進費	6,350	7,334
貸倒引当金繰入額	8	△12
給料及び手当	8,595	8,803
賞与引当金繰入額	902	927
役員退職慰労引当金繰入額	11	13
旅費及び交通費	1,220	1,217
減価償却費	393	527
のれん償却額	1,431	1,431
地代家賃	685	742
研究開発費	1,725	1,941
その他	6,895	7,181
販売費及び一般管理費合計	39,299	41,489
営業利益	12,248	12,537
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	31	44
受取ロイヤリティー	50	6
受取手数料	35	29
受取家賃	116	108
その他	215	185
営業外収益合計	461	383
営業外費用		
支払利息	64	59
為替差損	137	300
減価償却費	20	10
たな卸資産廃棄損	0	6
その他	15	11
営業外費用合計	238	389
経常利益	12,471	12,531

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	138	29
投資有価証券売却益	11	-
関係会社清算益	-	8
事業譲渡益	-	268
特別利益合計	149	306
特別損失		
固定資産売却損	7	1
固定資産除却損	11	28
投資有価証券評価損	3	32
特別損失合計	22	62
税金等調整前四半期純利益	12,598	12,775
法人税、住民税及び事業税	5,606	5,002
法人税等調整額	△704	△498
法人税等合計	4,901	4,504
四半期純利益	7,696	8,271
非支配株主に帰属する四半期純利益	552	465
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,144	7,806

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	7,696	8,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	352	△263
為替換算調整勘定	△164	△712
退職給付に係る調整額	△32	16
その他の包括利益合計	155	△960
四半期包括利益	7,852	7,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,296	6,857
非支配株主に係る四半期包括利益	555	453

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	116,864	15,745	132,610	—	132,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高(注) 1	5,045	77	5,123	△5,123	—
計	121,910	15,822	137,733	△5,123	132,610
セグメント利益	10,521	1,506	12,028	220	12,248

- (注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額220百万円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	120,940	16,342	137,282	—	137,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高(注) 1	5,820	82	5,903	△5,903	—
計	126,760	16,424	143,185	△5,903	137,282
セグメント利益	10,927	1,180	12,108	429	12,537

- (注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額429百万円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。